

令和 2 年 2 月 3 日
 鹿児島地方気象台

奄美地方の 1 月の月平均気温が統計開始以降、最高となりました

- 1 月の奄美地方の地域平均気温が統計開始以降、最も高くなりました。1 月の九州南部の地域平均気温は 2 位となりました。
- 九州南部・奄美地方の気象官署及び特別地域気象観測所の 6 地点で 1 月の月平均気温は統計開始以降、最も高くなりました。

1. 奄美地方の 1 月の地域平均気温は、統計開始（1946 年）以降、最も高くなりました。

表 1 九州南部、奄美地方の 1 月の月平均気温が高かった年と地域平均気温平年差

	2020 年	これまでの 1 位	これまでの 2 位
九州南部	+2.4	+2.5 (1989 年)	+2.1 (1972 年)
奄美地方	+1.7	+1.7 (1954 年)	+1.5 (2008 年)

2. 九州南部・奄美地方の気象官署及び特別地域気象観測所の 6 地点で 1 月の月平均気温は統計開始以降、最も高くなりました。

表 2 気象官署及び特別地域気象観測所の 1 月の月平均気温

順位	地点名	値()	平年値()	平年差()	これまでの 1 位() (西暦年)	統計開始年
1	延岡	9.0	6.6	+2.4	8.8 (1989 年)	1962 年
1	阿久根	10.3	7.6	+2.7	10.2 (1989 年)	1940 年
1	鹿児島	11.1=	8.5	+2.6	11.1 (1989 年)	1883 年
1	枕崎	11.4	8.8	+2.6	11.3 (1989 年)	1924 年
1	種子島	13.8=	11.5	+2.3	13.8 (1989 年)	1949 年
1	名瀬	16.5=	14.8	+1.7	16.5 (1989 年)	1897 年
2	都城	8.3	5.8	+2.5	8.7 (1989 年)	1943 年
2	宮崎	9.9=	7.5	+2.4	10.0 (1989 年)	1886 年
2	屋久島	13.8=	11.6	+2.2	13.9 (1954 年)	1938 年
3	油津	10.7	8.7	+2.0	11.2 (1989 年)	1949 年
3	沖永良部	17.9	16.2	+1.7	18.2 (1972 年)	1970 年

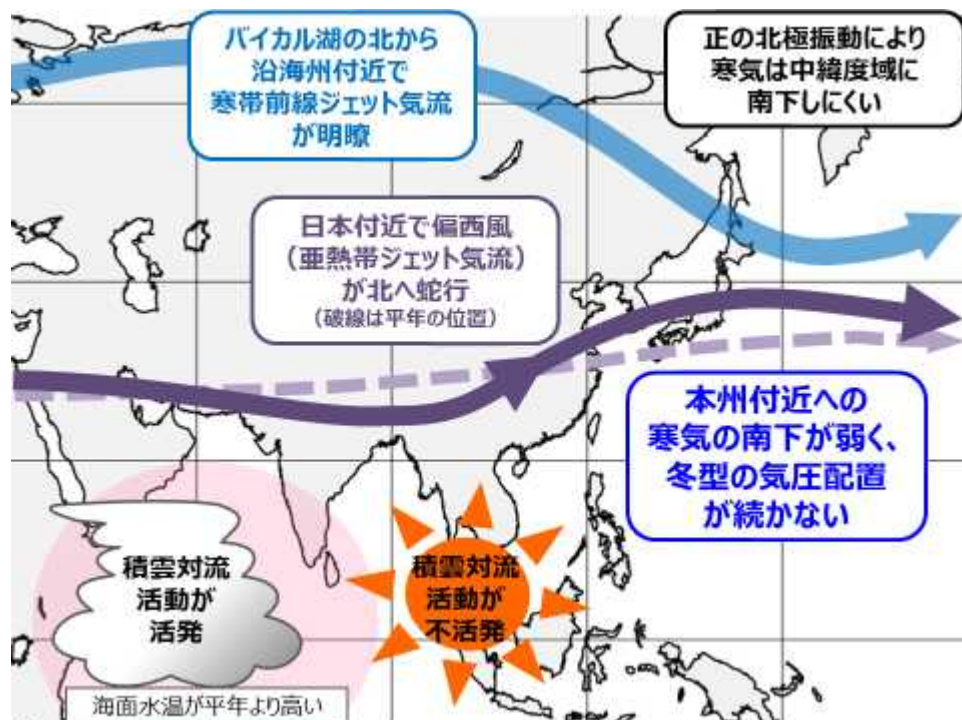
順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3. 記録的高温になった要因

記録的高温となった要因は、日本付近における偏西風（亜熱帯ジェット気流）の北への蛇行や正の北極振動などにより、寒気の南下が弱く、冬型の気圧配置が続かなかったことが考えられます。また背景として地球温暖化の影響も考えられます（別紙参照）。

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当
 電話 099-250-9912 FAX 099-255-4234

気温が高かった要因



2020年1月の平均的な大気の流れの模式図

- 日本付近で偏西風が北に蛇行しました。この偏西風（亜熱帯ジェット気流）の蛇行には、熱帯付近の積雲対流活動がインド洋西部付近で平常よりも活発、インドネシア付近では不活発となったことが影響したと考えられます。この積雲対流活動には、インド洋において西部を中心に海面水温が平常より高いことが影響したと考えられます。
- また、正の北極振動が明瞭となり、寒気は北極域から中緯度域に南下しにくくなりました。また、バイカル湖の北から沿海州付近で寒帯前線ジェット気流が明瞭となり、東シベリア付近の寒気が弱くなりました。

これらのことから、寒気の南下が弱く、冬型の気圧配置が続かなかったと考えられます。

- また背景として地球温暖化の影響も考えられます。

「正の北極振動」とは、北極域の海面気圧が平常より低く、中緯度域の海面気圧が平常よりも高くなる現象です。